

2025年度 09)加速器質量分析装置等利用(共同利用) 採択一覧

10 件

*所属機関・職名は、原則、申請書のとおり掲載しています。

* In principle, proposer's affiliation and job title in this list are based on the application.

研究代表者 Principal Investigator	所属機関* Affiliation	職名* Job title	所内担当教員 Corresponding ISEE researcher	研究課題名 Project title
岸田拓士	日本大学	教授	北川浩之	先史時代の気候変動と動物相の変遷との関係性の解明のための年代測定
勝田長貴	岐阜大学	教授	南雅代	湖沼堆積物を用いた最終氷期以降のモンゴル高原の古環境復元
高橋浩	産業技術総合研究所	主任研究員	南雅代	水試料の放射性炭素濃度測定における生物活動の影響除去に関する新手法の最適化
荻谷愛彦	専修大学	教授	北川浩之	赤石山脈における大規模斜面崩壊の発達過程解明に向けた高精度年代測定
奥野充	大阪公立大学	教授	南雅代	火山噴火史を高精度化する年代学的研究
奥野充	大阪公立大学	教授	南雅代	湿地堆積物の堆積過程の高精度復元
谷水雅治	関西学院大学	教授	南雅代	海藻資料を用いた北海道周辺海域 ^{14}C 量の分布と変遷の把握
植村立	名古屋大学	准教授	南雅代	鍾乳石の放射性炭素年代測定前処理の検討
中西利典	ふじのくに地球環境史ミュージアム	教授	北川浩之	沖積層に含まれる碎屑物を用いた高精度堆積年代決定
池盛文数	名古屋市環境科学調査センター	研究員	南雅代	^{14}C を用いた大気エアロゾル中元素状炭素の発生起源解析